

2022年11月8日

読売テレビで中学生アナウンスコンテスト開催 大田良平アナウンサーが講師として参加

11月5日(土)、読売テレビ1階の10hallで「大阪市立中学校 放送コンテスト新人大会」が行われました。読売テレビからは、大田良平アナウンサーが審査員とアナウンス講習会の講師として参加しました。



このコンテストは、大阪市立中学校の放送部などに所属する生徒のアナウンス技術向上を目的とし開催されています。3年ぶり31回目となる今回の大会には、市内の6つの中学校から1年生、2年生あわせて31人が出場。課題として出されたニュース原稿を一人ずつマイクの前で読み上げ、正しい発声・発音ができているか、文の意味を聞き手に正しく伝えているかなどの観点で審査が行われました。



大田良平アナウンサー

講習会では大田アナが、アナウンスの基礎は、長く一定の声を出し続けるロングトーン、短い声の強弱、活舌、そして声の高さだと解説。なかでも人に伝わりやすい話し方で重要なのは声の高さで表現することだとして、実際に、原稿の中にある重要なフレーズを声の高さで印象付ける方法などを実演、出せる声の高さの幅を広げていくトレーニングが必要だと説明しました。「自分がイメージした通り、きれいな声が出せた時の気持ちよさ、楽しさを大切に、今後もしゃべる能力を高めていってほしい」と述べました。

コンテストでは審査の結果、最優秀賞 1 人、優秀賞 2 人、優良賞 3 人、努力賞 4 人が選ばれました。最優秀賞を受賞した大阪市立董中学校 2 年生の西村旺祐さんは、「全力を出せた、最優秀賞めっちゃうれしい。講義で大田アナが言っていた音の高低をしっかりとできるようになっていきたい」と語りました。